

# SSKR

# CIL東大和通信

## 第5号

編集 NPO法人 自立生活センター・東大和  
〒207-0014 東京都東大和市南街1-8-12 ドエル東大和1F  
TEL: 042-567-2622 FAX: 042-567-2912  
発行所 東京都世田谷区砧6-26-21  
障害者団体定期刊行物協会 定価100円

大変ご無沙汰しております。今年も残り少なくなりましたが、みなさま  
いかがお過ごしでしょうか？

支援費のごたごたも乗り越えつつずいぶん波に乗ってきました☆



東京ディズニー  
ランドで記念撮影

### 目次

新スタッフ紹介	2
今年のILP報告	2
移送部門より	5
自立体験室STEP ついにOPEN!	5
本の紹介	5
介助マニュアル読んでね☆	5
年末年始のお知らせ	6

## 0・0 新スタッフ紹介 0・0

さっそく新しいスタッフをご紹介します。以下のインタビューに答えていただきました！！

1、ニックネーム 2、趣味・特技 3、最近感動したこと 4、最近幻滅した事 5、事務所との馴れ初め 6、事務所でのお仕事内容 7、事務所内で気に入っているモノ 8、仕事への意気込み

## ☆ 野口 陽子 (常勤) ☆

1、特にないです…。 2、山登らーです。一番良かった山は雲取山…初！山小屋宿泊したのです!! 3、姪っ子が3歳の七五三を迎えたこと。かわいい～の～。 4、去年から育てているポインセチアがなぜか赤くならず緑のままなの…。去年のクリスマスの頃にはちゃんと赤くなったと思うんだけどなあ。 5、タウンワークでの募集を見て、登録アテンドになったはずが、スタッフに引き抜かれました…。 6、コーディネーター勉強中。介護保険のほうを多く担当しています。 7、トイレの広さ・開放感！ 8、痒いところに手が届く…みたいなよく気がつきフットワークの良いコーディネーターになりたい！

## ☆ 新堀 博子 (常勤) ☆

1、ぼり… 2、食うこと・寝ること☆ バレーボール 3、ゴールデンハムスターを500円で買ったこと 4、みんなから「髪型がおにぎりみたい」と言われたこと 5、飯田橋の職安で求人を見つけ、茨城からはるばる出てきました。その理由は、一人暮らしを体験したかった・父親がALSなので福祉系に興味湧き、もっと勉強したいと思った・東京に出てきたかった！などなどです☆ 6、一応コーディネーター修行中。派遣行ってます！ 7、出入りしたときに必ず挨拶があること 8、やるしかないよね、ここまできたら…。

## ☆ 及川 奈緒美 (非常勤) ☆

1、なお 2、韓国ラブ 3、あぶさん(わんちゃん)の結膜炎が治ったこと(笑 あと、韓国ドラマ「ロマンス」の最終回が感動できでした～。泣けるよ… 4、おニューの白いTシャツをお母様がピンクに染めたっちゃったこと…。(TT) 5、知人の紹介で。 6、コンピュータを使った請求業務とか、点字打ちとか、もろもろの事務…。 7、グレーの事務椅子。ふかふかパネが効いていて良い感じ。 8、支援費請求のスペシャリストになるぞ!!! (@v@) (笑)

## 0・0 LP部門より 0・0

今年もいろいろイベントを開催しました！毎年恒例行事もあれば、新しい人との出会いや講師の先生を招いてお話をさせていただいたり、さまざまなイベントを開催できたと思います。

## 6月21日：「身近にある依存症～あなたは大丈夫??」

アルコール依存のセラピーなどに携わる八木眞佐彦氏(豊島区・榎本クリニック ソーシャルワーカー)をお招きし、講演会を行いました。ヘルパーやカウンセラー、看護師や教師などの職業についている人の中には、共依存に陥りやすい人が多くいるそうです。共依存とは、人との関係に依存してしまうこと。育ってきた背景に、親(特に母親)から十分な愛情を与えられなかった人が、自分の存在価値を

見出すために、人の役に立とうといろいろ尽くすのですが、実はその行動自体に依存している（自分が人の役に立ち、評価されていることに酔っている状態）ことがあるという、とても興味深いお話を聞くことができました。

本来「できない部分だけを手伝う」仕事である介助者が、実は自分を癒すために仕事をしているなんて、ちょっと困りますね。「依存症」と断言する条件は、「自己コントロールを失っていること」だそうですよ。最近は「携帯依存症」なんていうのがあるんじゃないですか??病院や授業中、お仕事中は電源を切らなければダメですよ!!



## 9-10月：料理教室

今年C I L 東大和の会員登録をしてくださった飯田譲治さんという車椅子の利用者さんが、実は料理の達人であるということが発覚! さっそく5回シリーズで料理教室の講師をお願いしました。炊き込みご飯や野菜炒めという基本的な料理の中にも、何かこだわりがあり、とても勉強になりました。「えっ! きのこって洗っちゃいけないの??」「水溶き片栗粉って沈殿させるの??」と目から耳からうろこが落ち通し…。ちょっと参加者人数が少なかったのがもったいなかったのですが、参加してくださった方は、さっそく介助中に実践したりとお役に立てたようです。次回開催することがあったら、是非皆様積極的に参加してくださいね!

## 11月16日：福祉祭参加

今年初めて、東大和市社会福祉協議会主催の「福祉祭」に参加することができました! 毎年11月に市内の福祉団体がお店を出したり展示をしたりするお祭りです。C I L 東大和は骨付きフランクフルトと点字名刺の実演、事務所紹介パネルの展示でした。前日までの天気予報はかなり高い確率で大雨…。でも当日になったら11月には珍しいほどの快晴で、セーターなど着ていたら汗をかいて大変でした! フランクフルトも閉会2時間前には完売!! ご来店いただきました方どうもありがとうございました☆

他にもたくさん団体がありましたが、お話を伺うと「今はほとんど活動していません」というところも少なくなく、率直な感想を述べさせていただきますと、いろいろな団体とつながりを持てると思って参加した私たちとしてはちょっと残念でした。いろいろな社会資源があるのであれば、せっかくなのですから活用していきたいですね。東大和市内でもう少し連携を取ればな、と思います。私たちももっと地域に根ざした活動を展開していきたいと思います!!



## 11月21日：アテ交流会

事務所を立ち上げて始めて、アテナント向けの交流会を開催しました。派遣に入っているときは、個人プレーですよ。利用者さんによって介助の仕方も生活の仕方も考え方もみな全然違うのですから、毎回頭を悩ませることもあるかと思えます。そういうことも、アテナント同士が交流することで、「こういうことで行き詰ったらこうやって考え直したよ!」とか「もっとこういう風にアプローチしたらいいよ」など、なにか解決の糸口やきっかけが見つかったかもしれませんね? また、そんな深刻なことは関係なく、ただこういう人が他にアテナントをしているんだな、と全体の雰囲気を感じてもらっただけでもよかったかもしれません??中にはお酒を飲んで大暴れな方も…。どうもご迷惑をおかけいたし

ました…。でも、今後も年に1度はこのような機会を作っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします☆

## 11月26日：ディズニーツアー

毎年恒例になりましたディズニーツアー。ですが、毎年同じでは面白くないということで、今回はディズニーランドかディズニーシーのどちらかを自分で選べる選択制、そしてパレードまで見ていきたい人あり、人ごみや寒さで疲れてしまうから一足先に帰りたい人ありということも考慮して、帰りの方法を「自由解散制」を導入してみました。結局選択制を取り入れたものの、参加者全員ランド希望。さらに、電車などで東大和市に帰ってくるのはあまりに大変すぎるということで、微妙??な結果となりました。もう少し市内の交通機関が充実していればいいのですが…。次回からの外出イベントを組むときには、第一目的を「市内脱出」を掲げ、「まず家から出る」サポートをしていきたいと思いました。

ではここで、ディズニーツアー参加者のアテンダントについて新スタッフの新堀さんの感想を聞いてみましょう。

私はスタッフになって初めて大きなイベントに参加しました。今回はスタッフとして、というよりアテンダントとしての参加でしたが、視覚障害の方のサポートだったのですが、視覚障害の方と接することは初めてだった上に、その方とお会いするのも初めてだったので、介助すること以上に緊張しました！肢体不自由の方の介助は移乗や着替え・入浴など、体力が必要な場面も多いのですが、視覚障害のサポートの場合には自分がその人の目になる、ということに集中しなければなりません。だから、もし自分には関係ないような風景や周囲のものなども利用者の方にとっては意味のあるものかもしれませんので、なるべく周囲の状況を詳しく説明しようと試みたつもりです。普段見落としがちな足元の段差や周囲の物音などにも気をつけるようにしました。あとは、平日にもかかわらず人の混雑がひどかったので、はぐれてしまわないよう腕をしっかり組んで歩きました。それに、私の日本語の使い方は変だといつもスタッフの方たちに言われるので、理解してもらえるように言語を選ぶということ、さらに、自分より随分年上の方でしたので、丁寧な言葉を使わなければいけない、ということにかなり気を遣いました。社会常識なども私はまだまだ足りないのですが、もしかしたら無意識で失礼な言動があったかもしれません。何もかも初めての経験で「実は利用者がアテンダントを介助していたのではないか」とみんなに言われましたが、実際いろいろご本人に説明してもらえたので、無事こなすことができました。どうもありがとうございました。

## ☆アイデア募集☆

CIL東大和では、常に会員の皆様からのアイデアを募集しています。どんな活動をやってみたいか、どんなところに行ってみたいか、どんなサポートをしてほしいか、どんなことでも構いませんので、皆様のお声を寄せてください！「CIL東大和は何もやってくれない」なんて待っていませんか？待っているのは社会は変わりませんよ。一緒に創っていきましょう！お待ちしております☆

## 〇・〇 移送部門より 〇・〇

今年の2月に日本財団からの助成を受けて、三菱、トッポBJを増車することができました。

いままで、移送の予約が重なったときなどには、他団体の車を借りての調整などで皆さんにご不便をかけていましたが、車両が増えたことで、予約が重なったときなどもよりスムーズに対応できるようになりました。乗ってみると、軽車両ですが天井が高くゆったりとした感じです。また、車体がワンボックスタイプのものより安定感があり「快適！」と評判です。皆さんからも「こんな所に行きたい」あるいは「こういう企画はどうだろう」というような要望、希望をたくさんお寄せいただけたら幸いです。

助成していただきました日本財団様、どうもありがとうございました！

## 〇・〇 自立体験室STEP誕生 〇・〇

とうとうCIL東大和も自立体験室を作ることができました！

自立体験室とは、今後施設や家族から自立を目指す障害者が、自立を練習できる場所で、事務所の近くにアパートを借りました。その名はSTEP（ステップ）☆7月から運営しています。2DKで結構広い、洗濯機・炊飯器・冷蔵庫・食器・寝具など、生活に最低限必要なものはそろっています。また、自立の練習として使われてないときには、家族が出かける間障害のあるお子さんを預かってほしいというショートステイのような形や、地域生活を送る障害者同士と一緒に何か活動をする作業所的な形でも利用していただけるようにしています。

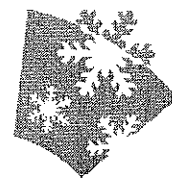
詳細は事務所にSTEP用のパンフレットがあるので、ご連絡くださいね☆

## 〇・〇 介助マニュアル 〇・〇



昨年度、日本財団様からの助成金で介助者マニュアルを作成することができました。本当に基本的な介助に入るに当たっての注意事項や、CILについての説明、また利用者とアテンダントの座談会などが載っています。なるべくアテンダントの皆様には読んでいただきたいと思いますので、事務所にお寄りの際には「一冊下さい」と声をかけてください！ イラストはスタッフの海老原が描きました。

## 〇・〇 本の紹介 〇・〇



スタッフの海老原宏美の母親がエッセイ+詩集の本を出版いたしました！！障害を持つ子どもを育てた経験やその思いを綴っています。障害を持つ子の親の立場でいろいろ書いていますが、読者の感想では「障害を持つ・持たないに関わらず、子育て中の親にはとても参考になる本だ！！」とご好評をいただいております。興味のある方は事務所までご一報ください。もちろん書店でも購入できますが、取り寄せ注文となることが多いと思います。よろしく願います☆

「泣いて、笑って、ありがとう」海老原けえ子 碧天舎

## ◆◆◆◆のお知らせ

NPO 法人 自立生活センター・東大和  
社会福祉法人 幹福社会 東大和事業所の利用者の皆様へ

寒さの厳しい折、皆様にはお変わりありませんか？

さて、当事業所では

2003年12月28日(日) から

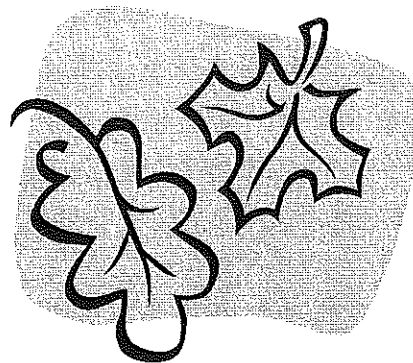
2004年 1月 4日(日) まで 冬期休業をいただくことになりました。

(お休みの間も、事務所の電話は転送されますので、緊急の場合は対応致します。)

年末年始のサービス利用のご予約は、

2003年12月24日 までの 受付となりますが、緊急の時には対応いたしますのでご一報ください。

年末年始もサービス提供は通常通りおこなっておりますのでどうぞご利用ください。皆様には なにかとご迷惑やご不便をおかけすると思いますが、よろしくご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。



NPO 法人 自立生活センター・東大和  
社会福祉法人 幹福社会 東大和事業所  
〒207-0014

東京都東大和市南街 1-8-12 ドエル東大和 1F

TEL: 042-567-2622

TEL: 042-565-3739

EMAIL: cil-ymt@violin.ocn.ne.jp